

ここでは帝政ロシア軍、近衛セミョーフスキー連隊の軍装について紹介していきます。
なお、紹介しているアイテムは断りがない限り複製品です。

注意：掲載してある制服類は出来る限り実物に近づけるよう製作してはいますが、様々な都合により、実物と違う箇所も御座います。

特に、生地の色につきましては、市販の生地を利用する都合上、差がある場合があります。また、実物においても、色合いの差がかなり存在し、しかも当時の白黒写真からは正確な色が判別することは困難です。以上のことを考慮していただきたく存じます。

また、ボタンにつきましても、本来ならば、双頭の鷲が刻まれたボタンなのですが、デザインが連隊ごとに異なり（砲兵では鷲の下に交差した砲筒が配置されるなど。）、また、そもそも現状では双頭の鷲が刻まれたボタンは入手困難かつ高価であるため、普通の金ボタンで代用している場合がありますのでご了承下さい。

制帽

- [連隊制帽](#)
- [野戦制帽](#)

制服

- [フロックコート](#)
- [キーチェリ](#)
- [ギムナスチオルカ](#)
- [コート\(シーネリ\)](#)

- [セミョーフスキー連隊連隊バッジ](#)

[Special Thanks!](#)

参考資料：The Russian Army 1914~18
pycckaya armiya 1917~1920
Tsyeykhgauz VOYENNO-ISTORICHYESKII ZHURNAL(1)